

令和7年度 身体的拘束最小化チーム PDCAサイクル

【背景】

入院料の施設基準で、緊急やむを得ない場合を除き、『身体的拘束を行ってはならない』ことが規定されました。組織的な体制整備が求められ2024年6月チームが発足し、12月からチームのラウンドが開始しています。

【目標】

- ・身体的拘束率: 10%以下
- ・平均実施日数: 10日以下

【計画】

- ・多職種によるチームラウンドの実施
- ・定期的なチーム会の開催



Plan

【実行】

- ・病棟看護師と身体的拘束最小化対策を検討
- ・身体的拘束に代わる代替ケアを提案
- ・医師の治療方針を確認
- ・薬剤師による薬剤の適正使用を助言
- ・マニュアルやケア手順の見直し・審議・改定
- ・院内研修・勉強会の実施
- ・医療安全管理委員会でチームの活動報告(毎月)

患者の尊厳が尊重されているか実践の確認を行います。



Do

【改善】

- 身体的拘束率は、右下がり推移している。
- 身体拘束に代わる代替ケアの提案を行う。
- 薬剤師による適正な薬剤使用の助言を強化する。
- 定期的に院内の判断フローやカルテ記録を見直す。
- 職員の意識をアンケート調査で評価する。

引き続き、患者さんの**尊厳と安全**を最優先にして、身体的拘束の最小化に努めていきます。

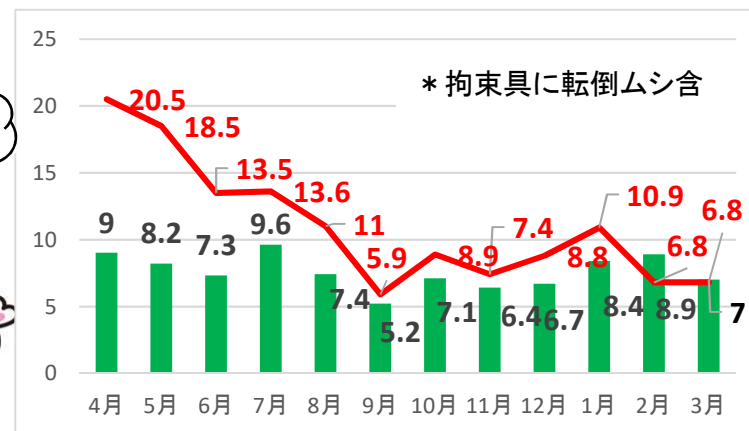


Action

Check

【評価】

- ・平均拘束率: 11.2%(上半期13.3% ⇨ 下半期8.2% ↓)
- ・平均実施日数: 7.4日



Good!



評価